

神奈川イグレンの活動状況を伝える機関紙 <第181号>

神奈川イグレンニュース

発行：神奈川県異業種連携協議会（議長 金宥武正）

発行責任者：専務理事 芝 忠 編集担当：宗和 正憲

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル7F

TEL 045-228-7331 FAX 045-228-7331 (TEL 兼用)

<http://www.kanagawa-iguren.com>

2017年12月号



【 今月のコンテンツ 】

- 神奈川イグレンご案内 1、
- 「新事業・新技術支援フォーラム」（略称：戦略会議）レポートのご案内 2
- イグレン会員グループ・プロジェクト状況 3、4、5
- 産学官交流サロンコーナー／事務局コーナー 6

【 神奈川イグレンご案内 】

<年末年始のご案内>

【年 末】：イグレン稼働は12月22日（金）にて終了。但し、芝 専務理事は27日まで。

【年 始】：1月9日（火）から稼働。スタッフ会議 14：00～ 財団法人への挨拶など。

平成29年12月1日、横須賀のセントラルホテルにて横須賀交流プラザの350回記念パーティーが開催され多くの方が参加されました。今回は記念すべき350回目でしたので大懇親会パーティーとして美味しい食事を頂きながら横須賀出身のソプラノ歌手である横森由衣さんとピアニストの増田美穂さんによる美しい歌声を聞かせていただきました。その後、ラテン系の音楽で寿永アリサさん率いるラテンワールドミュージックの皆さんによるノリノリの音楽で会場も盛り上がり、ダンスをされる方も登場。楽しいひと時を過ごしました。終盤で小泉進次郎さんも登場されとても良い会となりました。



ラテンワールドミュージックの皆さん



代表幹事の雑賀さんと幹事の皆様

「新事業・新技術支援フォーラム」(略称：戦略会議)レポートのご案内

イグレン事務局 松井利夫

第55回フォーラムは平成29年11月16日に開催。初めに、宗和さんの紹介で来られたベンチャー企業(株)ペガソス・エレクトラの岡田さんと手塚さんから、「灯-mawali」(ヒマワリ)といて、マグネシウム電池を使った非常用の「LEDライト」の説明がありました。この商品の特徴は、水に浸けると内蔵のマグネシウム電池が発電を開始しLEDが点灯します。18カンデラのLEDを3個搭載し暗闇の中でも新聞の文字が読める明るさを発揮します。連続点灯時間は72時間ありますが、引き続き使用するためには内蔵のマグネシウム電池の交換が必要だと説明がありました。更に、この商品は、ノベルティグッズ(企業が自社の商品の宣伝を目的として、それらの名称を入れて無料で配布する記念品)として開発したものです。その他では、災害時に突如として遭遇する暗闇の時に役立つ「灯り」として、家庭用備蓄品としての使い方がありますとの説明もありました

伊藤さんから、JICAを経由してフィリピンから引き合いのあった河川・冠水警報装置の件で1月末から2月初めにかけて現地に訪問すること。田圃センサーについては、来年度のこめづくりに役立てるため通信装置を改良中です。通信がWi-Fiでない新しい通信装置が出てきたのでそれを利用することにしたとのこと。

荒川さんからは、前回、「危険通報通信システム」の試作品が出来たので現物をもってきて説明しましたが、その後、新たに無線による呼出装置を考えて呼出ボタンを追加しました。商品は来年2月頃発売する予定ですとのことでした。

鶴野さんからは、スターリングエンジンのことを初めて知った経緯の説明があり、その後、10年経った今、スターリングエンジンはようやく商品化が出来るところまで来たとの説明がありました。スターリングエンジンの燃料は鶏糞などの産業廃棄物を燃料エネルギーとしています。いわば、エネルギーの地産地消ということです。鶏糞を燃料にしたときの採算性ですが、10万羽の鶏糞を処理するためには、年間2000万円掛かっています。それを廃棄処分しないで燃料として使用すれば3年間で投資が回収可能で十分採算が合いますとの説明がありました。

有機水耕栽培に取り組む森さんからは、有機水耕栽培で大豆を作ることが出来たことと、事業化の事例として三菱地所へ提案した有機野菜工場システムについては、その後、三菱総研のINCF(Innovation Network for Co-creating the Future)の会員になった以外に変化はないとのことでした。

イグレン会員グループ・プロジェクト状況

【第189回 日韓ビジネス協議会】

高橋 導徳

- 日時：2018年1月24日(水) 午後4時30分～5時15分 協議会 ～7時30分 新年会
- 場所：神奈川中小企業センタービル 6階 特別研修室
 かながわ異業種交流センター(神奈川県異業種連携協議会) TEL：045-228-7331
 ★ 新年会会場；いつもの日本海「庄や」TEL：045-252-8267
- 次第：◆ 特別講師：大島経営研究所・所長、経営学修士 大島 英雄氏
 ・タイトル:安全保障貿易管理及びコンプライアンス(法令遵守)について
 ・要旨:安全保障貿易管理」で規制している法律がありますが、違反すると「法人」「個人」が罰される場合があります。知らないで済まされません。今回、「安全保障貿易管理」「コンプライアンス(法令遵守)」を説明します。
 <2月度は2月23日(金)を予定しています。会費:1,000円、新年会費:4,000円>

第79回「三浦半島経済人サロン」

会員 平野和夫

11月21日、神奈川新聞横須賀支社5階で開かれ、大漁旗制作の三富（みとみ）染物店（三浦市三崎）の三富由貴・7代目が「観光客を対象とした伝統技術体験と観光土産品販売事業」の題名で講演しました。「かながわ産業 Navi 大賞2017」において、グランプリに次ぐ優秀賞3社の1社に選ばれました。大漁旗は、航海安全と大漁を祈願して新しい船の建造を祝うもので、同店の大漁旗は「かながわの名産100選」にも選ばれているそうです。



この日、三富さんは結婚、子供の誕生・節句、還暦・古希、開店祝いなど様々なお祝いごとに使われる「飾り旗」と「大漁手ぬぐい」を持ち込みました。飾り旗は大胆なデザインと鮮やかな色彩の見事な作品でした。我が国の水産業は昭和40年代にピークを迎えましたが、その後、国民の魚離れ、世界的な魚類保護などの動きの中で、漁獲量は衰退の一途をたどりました。その影響で、同店の最も得意とする「大漁旗」制作事業が厳しくなり、7代目は「観光客によるミニ大漁旗制作体験、大漁手ぬぐいや飾り旗の販売などに活路を求めている」と取り組みを話しました。「大漁旗に自由に色付けをしていただきます。オリジナルの大漁旗を自分で作ってみてはいかがでしょうか。ご指導いたします」と制作体験について、語りました。

三富さんは同店について

「天保4年（1833年）創業で、江戸時代は幕府の御用職人として戦の幟（のぼり）や藍染で半纏（はんでん）などを染め、その後、大漁旗を染めるようになった」「江戸時代から続く伝統技法で、すべて手作業で一品一品心をこめて丁寧に染め上げている。まぐろで有名な三崎漁港にある」と歴史を話しました。一方、三富さんが現在抱えている課題について、価格が大漁旗1件、3万円と低い状態のまま、値上げが難しいこと、両親と合わせて3人の零細事業のため、例えばテレビなどで放映されても



大量生産・受注ができないこと、長期的には神奈川県内には1軒しかなく、後継者がいないことなどを挙げました。質疑応答では、「大漁旗をもっと多くの人に知ってもらい必要がある。革新的なビジネスプランを国内外に発信する”イチロクカンファレンス”で発表してみようか」「美術館などで作品を展示しよう」などの提案がありました。

私は二日後、三浦市役所で記者会見があり、ついでに近くにあるという同店を訪れました。大きな大漁旗が店の中央にデーンとおかれていました。数人の女性客が入ってきて、大漁手ぬぐいを買ったり、

制作体験の申し込みをしたりしていました。工房で6代目の父親、實仁さんが制作途中作品の「のり付け作業」を見せてくださいました。もち米とぬかを混ぜて煮たのりを、三角状の布袋から絞り出して、旗の図案の輪郭を描く、最も難しい工程だそうです。下絵は奥さんが担当しています。裏庭では井戸水で絵の具が流された大きな作品が天日ぼしされていました。

異業種交流会シフト21 【<http://shift21.jimdo.com/>】

有村 知里

新年の会員プレゼンテーション大会

相互に事業を知る機会とするため、1人3分間で事業紹介をお願いします。
ゲスト参加者は1分間の自己紹介のみとさせていただきます。

《2018年1月定例会》

■日時 2018年1月9日(火) 18:30~20:15 懇親会 20:30~22:00

■場所 ビジネス&コミュニティ 横浜駅前オフィス セミナールーム
横浜市神奈川区鶴屋町2-21-1 ダイヤビル303

■ゲスト参加費

参加が初めての方 : 定例会 無料 / 懇親会 1,000円

参加が2・3回目の方 : 定例会 1,000円 / 懇親会 実費(3,000円程度)

※ 4回目以降のご参加は定例会費として4,000円をいただきます。

異業種交流会シフト21とは

シフト21は平成8年から活動している異業種交流会です。

多彩な経営者・起業家が集い、外部講師による講演や会員のプレゼンなどで
研鑽を図りながら、ビジネスに繋げる交流を図っています。

お問合せ・お申込みは事務局・有村まで。shift21info@gmail.com

「テクニカルショウヨコハマ 2018」における宣伝のため会社案内・カタログ・チラシ

出展募集のお知らせ

1. お知らせの要旨 : 2018年2月7日(水)、8日(木)、9日(金)の3日間、パシフィコ横浜
展示ホールにて「テクニカルショウヨコハマ 2018」の開催に伴う出展
募集の案内
2. 募集内容 : 会社案内・カタログ・チラシ(全部または一種類か二種類)
3. 出展方法 : (1) 会社案内・カタログは展示台に置く。
(2) チラシは、出展者全てのチラシを特製のファイルに挟み配布する。
4. 出展費用 : 5,000円(全種類でも一種類又は二種類でも費用は同じ)
5. 申込期限 : 12月21日(木) (FAXで申込みください)
6. 申込・問合せ先 : 神奈川県異業種連携協議会(イグレン)
電話/FAX : 045-228-7331 担当: 芝、織方、松井

ものづくり交流・政策研究会(2017.12.10)

【 神奈川県異業種連携協議会 】

芝 忠

日本の製造業は近年の不正問題で信頼性が大きくゆらいでいます。そうした中で行政は海外進出支援ばかりに熱中し、国内で真面目に頑張っている中小製造業は人材確保もままならず、憤懣やるかたない、有様です。特に神奈川県は、大手企業の海外や地方移転の荒波を受けて、その深刻さは格別です。より一層の地元企業支援を重視させるために、イグレンが直轄で運営する別記の研究会構想を立てました。参加想定メンバーはまだ個別に了解をいただいているわけではありませんが、一応、こういう方々をお願いしようとする構想です。大半のメンバーはイグレン傘下のグループや会員企業並びに各種の繋がりのある方々なので、大方の了承はいただけるものと考えています。ぜひ皆様のご協力を得て、スタートさせたいと思います。確定ではありませんから、今後も自薦・他薦の方々の出入りが予想されますが、あえて発表させていただきます。

<趣旨>日本の製造業の弱体化が叫ばれている今日、改めてその在り方を議論する必要がある。そして自治体や、国の政策に反映する提言をまとめる。

- (1)国内に生き残る方策と海外進出の是非
- (2)航空宇宙産業振興策
- (3)「中小企業振興条例」の活用による製造業振興策
- (4)神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市協同による「技術振興機関」の設置

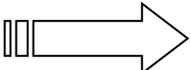
<想定メンバー> 順不同

宝電機工業(横浜市)比佐健士	山勝電子工業(川崎市)金究武正
(山之内製作所(横浜市)山内慶次郎)	山喜(横浜市)山崎一
協立電機工業(茅ヶ崎市)藤本俊実	(ソノテック(川崎市)藤井富廣)
ユニメーションシステム(横浜市)伊藤幸彦	尾下紙業(小田原市)尾下浩一
テクノラボ(横浜市)林光邦	川田製作所(小田原市)川田俊介
イムダイン(東京都港区)本多伸吉	アイコンテクノ(川崎市)金子和夫
開明製作所(横浜市)梅田八壽子	オービタルエンジニアリング(横浜市)山口耕司
(野島製作所(横浜市)新井利満)	(メジャーテックツルミ(川崎市)横須賀健治)
ネオテック(山北町)伊藤篤	賛友精機(川崎市)紀中靖雄
山崎淳(福井県立大学・関東学院大学)	
芝忠(イグレン専務理事)	橋本真幸(プルデンシャル生命保険)
愛賢司(イグレン事務局次長)	宮川豊(イグレン事務局長)

<イグレンニュース編集長 交代のお知らせ>

2013年よりイグレンニュースの編集長として毎月ニュースの編集、発行を行い早いもので5年が経ちました。これも皆様方からの熱い支援とご協力の賜物だと思います。この度、私事で恐縮ですが仕事の関係上、編集長としての任に対して支障をきたすことも予測される事からイグレンニュースの編集長の交代をお願いした次第です。今後に関しましては 愛 賢司さんをお願いすることになりましたので今後の投稿、情報などございましたら愛さん宛にお願いできればと思います。

尚、私は編集長としての任からは外れますが引き続きイグレンの会員として席は残しますので今まで同様お付き合いのほど宜しくお願い致します。

<退任> 宗和 正憲  <着任> 愛 賢司

愛さんのアドレスはこちらになります。 aikenji1024@gmail.com

	尾上町サロン	西湘サロン 第72回	海老名サロン 第43回	三浦半島経済人サロン 第80回
日程	01月12日(金) 18:00~20:30	01月16日(火) 18:00~20:00 開場は17:30~	02月16日(金) 15:00~	01月23日(火) 18:00~ 開場は17:30~
場所	神奈川中小企業センター703 イグレン事務局	おだわら市民交流センターUMECO 小田原市栄町一丁目1番27号	神奈川中小企業センター6階 大修室 横浜市中区尾上町5-80	神奈川新聞社 横須賀支社5階会議室 横須賀市小川町21-9
連絡先	イグレン(芝)	イグレン(吉池)	愛賢司	堀込、芝、鶴野、西澤
内容	自由に語らう 交流 参加費:1,000円	「芦ノ湖の水を早川へ流そう!」(早川第2弾) 早川流域環境懇談会代表 勝俣 正次氏 参加費:1,000円	「地域とつながる街工場」 (有)川田製作所 川田俊介 氏 参加費:3,500円	「解き明かされた、謎の縄文地名」 赤羽根 日出夫 氏(元神奈川県立図書館長) 参加費:1,000円

<退任のご挨拶>

皆様、今までどうもありがとうございました。イグレンとの出会いは今から8年ほど前の事だと思います。ある人のご縁でこの会を知りました。私は2002年にプルデンシャル生命に入社をし、約16年弱この業界で過ごしてまいりましたがこの度、仲間とともに起業することになりました。今後は脳の活性化による身体能力の向上を目指すという健康産業の分野に進出することになります。

軌道に乗れば認知症の予防や介護の分野にも活用できるため、この先の増大する社会保障費の大幅削減も夢ではないと考えています。また何処かで皆様のお役に立てることがあれば幸いです。長らくのご愛顧誠にありがとうございました。感謝申し上げます。

「神奈川イグレンニュース」は多くの皆様方からのご意見や投稿、感想などを頂戴し、情報を共有する事によって未来へつながる「役立ち情報誌」です。こんなことが新たなビジネスにつながった。とか、思いもしなかった出会いでこんな事になりました・・・など原稿を募集中です。

伺える範囲であれば取材にも参ります。尚、自薦・他薦は問いませんのでご連絡頂ければと思います。

神奈川イグレンへの連絡問合せは、Tel: 045-228-7331 Fax: 045-228-7331 (TEL 兼用)

ご意見、感想などあればこちらまでお願いします。 mail masa247307-sowa@dream.bbexcite.jp



神奈川県異業種連携協議会 交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください(無料)

【月】①②③宮川 豊④⑤荒 直孝【火】①②④⑤児玉 英二③愛賢司 【水】①菊地②指方③加藤④愛⑤芝

【木】①②③④⑤ 松井 利夫【金】①愛賢司②指方 順一郎③④⑤織方 【土、日、祭日】は休業

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル7階インキュベーションルーム703号
神奈川イグレン事務局

T/F 045-228-7331 URL: <http://www.kanagawa-iguren.com> Mail: iguren@kanagawa-iguren.com